

令和6年度 大仙市議会「市政懇談会」でいただいたご意見・ご要望 一覧表

No.	開催場所等	いただいたご意見	当日の回答	市議会 だより 掲載
1	大綱交流館	合併後、人口が10万人から8万人以下に減少し、空き家も増え、地域行事への子どもの参加もなくなるなど、地域の活力が低下している。市議会や市長はこの現状をどう捉え、どのように改善していくのか具体策を知りたい。	人口減少は深刻な課題として受け止めており、特に若者が地元に着定するため、学校や地元企業と連携し、卒業後の地元就職を促進しています。給食費の軽減や子育て支援策も検討中であり、議会としてさらに具体的な施策を進めていきます。	●
2	大綱交流館	農業の後継者不足が進む中で、若者が大仙市に残る仕組みを構築してほしい。住環境の改善や子育て世帯の交流拠点の整備も必要ではないか。	企業誘致と地元産業の振興の両方が重要です。人材の流出や奪い合いを防ぐため、地元産業を基盤としつつ、企業誘致を進めるよう市に提案してまいります。	●
3	大綱交流館	自宅介護世帯への支援がある一方、施設介護世帯への支援が不足していると思う。この格差を埋める施策を検討してほしい。	いただいた提案を議会に挙げ、具体的な支援策の拡充に向けて努力していきます。	●
4	大綱交流館	西仙北高校はじめ地域の学校の存続には、魅力ある教育環境だけでなく、学んだことを生かせる環境や就職先が必要である。生徒たちが大仙市に残る仕組みや、市外から呼べる仕組みを構築してほしい。	西仙北高校は素晴らしい活動をしています。特色ある教育活動の推進も含め、地域の協力を得ながら学校の魅力づくりについて教育委員会とも連携して対応してまいります。	
5	大綱交流館	地域の気になる箇所を支所に報告しても、第一声で「予算がない」と言われ、放置されている問題が多くある。支所にもっと予算を与えてほしい。職員も議員も自主的に働いて、地域の状況に対応してほしい。	安全・安心は最優先事項なので、危険箇所については議員に教えていただければ具体的に動きます。「予算がない」という回答はだめだと思います。	
6	大綱交流館	西仙北図書館の雨漏りや暗い照明といった設備の不備が放置されている。また、支所予算の不足が地域課題への対応を遅らせているため、改善してほしい。	施設の老朽化について、現地確認を行い、雨漏りや照明の改善を進めます。直す必要があるところがあればおっしゃってください。	
7	大綱交流館	幼稚園と保育園の統合に際して、施設状況を十分確認し、子どもたちが安心して過ごせる環境整備としてほしい。統合の進め方に当たり、現場の設備状況や保護者の意見を十分に反映してほしい。	統合について市と連携し、地域の声を反映しながら進めます。各施設の状況を確認し、安心できる環境を整備してまいります。	●
8	大綱交流館	議会で審議した議案に否決・修正したものはあるか。請願・陳情の審議結果の意味、また、不採択議案の内容と扱いを例示してほしい。	これまで議案の否決はほとんどありません。陳情・請願審議結果の例として、「趣旨採択」は賛同しつつも実現困難な場合に用いられます。最近の不採択例として「こまちRを給食に使わない」という陳情がありました。	●
9	大綱交流館	駅裏に屋根付き自転車置き場がなく、不便である。設置を早急に検討してほしい。	要望してまいります。	

No.	開催場所等	いただいたご意見	当日の回答	市議会 だより 掲載
10	大綱交流館	支所から借りた防除機械が短時間で故障し、住民活動に支障が出た。地域活動には皆時間を調整して出ているので、点検や修理を徹底し、このようなことがないようにしてほしい。	防除機械の管理体制について、支所に点検するよう伝えます。	●
11	大綱交流館	子育て環境と地域活動施設の整備について、子育て世帯が安心して利用できる施設や、地域活動に適した公共施設の整備を進めてほしい。	既存施設の活用を進めるとともに、不足部分について市と協議し改善を図ります。	●
12	協和支所	説明資料掲載の、世界少年野球大会について、事業の詳細を知りたい。	この大会は王貞治財団とベーブブルース財団が主催し、小中学生を対象に野球を普及する活動です。野球の楽しさを広めることを目的とし、王貞治氏自身も開催地で指導を行います。令和5年度はコロナの影響で中止となりましたが、令和7年度開催に向け準備費として予算措置を行ってるものです。	
13	協和支所	国道13号の複車線化が一部で進んでいるが、大仙市内の整備状況はどうなっているのか。	国道13号および46号の複車線化は長年要望しているものの、河辺以降の進捗が止まっています。6月には峰吉川の歩道橋が撤去されましたが、安全確保のため整備を要望中です。大仙市も期成同盟会を通じて秋田市や横手市などと協力し、事業化に向けた活動を続けています。	●
14	協和支所	淀川中流改修工事が進まず、堤防の完成が遅れている。昨年の災害では人家や農地への被害が発生しており、早急な対応を求める。	堤防が完成しない限り農地や民家が被害を受ける可能性が高く、県だけでなく国に対しても要望を強化します。地域の皆さんと協力しながら工事の早期完成を目指します。	
15	協和支所	昨今のクマ出没対策に関連して、他市では庭木伐採に補助を行っているところがある。大仙市でも検討してほしい。不在地主が管理する樹木も含め対応を求めたい。	当市には庭木伐採補助制度はありませんが、緩衝帯整備事業を実施中です。不在地主が管理する樹木への対応は課題が多いものの、需要は高いと思われるため、検討課題として持ち帰ります。	●
16	協和支所	災害時に排水ポンプや水路が十分活用されていない。被害を防ぐため設備の整備と運用の改善を求める。	大仙市では排水ポンプ車を2台配備し、防災課と連携して運用しています。堤防までのアクセス改善や土地改良区との協議も必要で、引き続き対応を進めます。	
17	協和支所	避難所の利用について、災害時に避難所の鍵が閉まっており利用できなかった。避難所をもっと活用しやすくしてほしい。	鍵を開けて避難所を活用する要望には柔軟に対応し、市としても協議を進めていきます。必要な部分は地域の声を踏まえ、積極的に改善します。(佐川市民サービス課長)	

No.	開催場所等	いただいたご意見	当日の回答	市議会 だより 掲載
18	協和支所	こうした場で、人口をどう増やすかの議論だけでなく、小中学生も市政懇談会に参加できるような席を設けてはどうか。また、コロナ禍を経て社会が大きく変化した今、新しいやり方で、大仙市を全国にアピールできるような施策を打ち出してほしい。	市政懇談会は、曜日・時間によっては限られた人しか参加できないというのが現状です。様々な年代の方々から大仙市を盛り上げるための意見をいただけるよう、担当の広報広聴常任委員会で声を掛けて、人が集まれるような懇談会にしていきたいと思います。	●
19	協和支所	P T A会長が集まる連合会の中で市政懇談会を開催してほしい。若い年代の意見も集められる機会になると思う。	連合P T Aとの意見交換会について要望があれば広報広聴常任委員会から出向く用意があります。貴重な意見を伺える機会として、ぜひ対応させていただきます。	●
20	協和支所	小学校周辺でのクマ出没対策として、見守り活動時用のクマスプレーや、音を出す機器などを予算化して配備してほしい。現状では、保護者が安全を確保するための道具が不足している。	学校のクマ対策として、音を出す仕掛けや校内放送を利用した対策を検討いたします。頂いた要望を関係者に伝え、対応を進めてまいります。	●
21	協和支所	大仙市は八つの市町村が合併して誕生したが、各地域に根ざしたやり方で市政懇談会を実施すれば、意見が出しやすくなり、多くの人に参加しやすくなるのではないかな。	昨年度は地域ごとにテーマを定めて市政懇談会を行ったが、テーマを絞ることでの他の質問がしにくい雰囲気があったため、今回は以前のスタイルに戻しました。多様な世代の方々に参加しやすい懇談会のスタイルについて、意見を参考にして改善を進めていきます。	●
22	神岡農村環境改善センター	福祉センター解体後、代替施設として使用する改善センターの現状が良くない。和室のふすまが破れているほか、玄関の危険な設置物も目立つ。神岡地域の住民が誇れる施設となるよう、小規模修繕を含めた整備を年次計画で進めてほしい。	改善センターの現状を確認し、小規模修繕を含む整備計画について検討事項として持ち帰ります。	●
23	神岡農村環境改善センター	神岡地域の中央公民館周辺施設に総合計画があるか確認したい。神岡球場内の危険なあずまやの解体や環境整備を早急に進め、少年野球大会や天皇杯などの大会にふさわしい施設とすべき。	中央公民館一帯の総合計画については現在の進捗状況を確認します。また、神岡球場の四阿については危険性を認識しており、解体を含めた整備を早急に検討します。	●
24	神岡農村環境改善センター	ソーラーレの人工芝グラウンドの工法について詳細が不明。次回以降の計画では子どもたちへの影響を考慮し、最適な工法を採用すべき。	過去の工法や計画を再確認し、将来的な施設整備計画に反映させる方向で議論を進めます。	
25	神岡農村環境改善センター	B & G プールの解体後に計画されている屋内遊び場施設について、地域の意見を反映させる仕組みが必要。また、美郷町など他地域の施設を参考に大仙市独自の魅力を備えた施設とすべき。	屋内遊び場の設置計画は解体工事と並行して進行中であり、地元住民の意見を取り入れるための手段を議会でも議論していきます。	●

No.	開催場所等	いただいたご意見	当日の回答	市議会 だより 掲載
26	神岡農村環境改善センター	大仙市が農業地域として有機農業を推進するオーガニックビレッジ構想参画にあたっての進捗状況を知りたい。学校給食にオーガニック食材を導入することで、移住促進や食育の向上、残飯削減が期待できるため、推進をお願いしたい。	オーガニックビレッジ構想については、議会内で改めて議論を進めるとともに、学校給食へのオーガニック食材導入についても市の現状を確認し、具体的な提案ができるよう議会でも取り上げていきます。	
27	神岡農村環境改善センター	学校給食の無償化を全国の流れに沿って早急に進めるべき。地元産食材やオーガニック食材の活用を含め、子どもたちの健康と地域経済を支える取り組みが必要。	学校給食の無償化については、市長の意向を踏まえつつ、議会としても早期実現に向けた議論を続けます。地元食材やオーガニック食材の活用についても検討を進めます。	
28	神岡農村環境改善センター	商工費や衛生費などの予算を見直すことで、学校給食無償化など重要施策への財源を確保すべき。また、予算編成の際に施策の優先順位を明確化してほしい。	各施策の予算配分や優先順位については、委員会や議会全体で慎重に審議を行っています。無償化を含む重要施策については、引き続き議論を深めていきます。	
29	神岡農村環境改善センター	地域開催の懇談会で神岡地域の予算や事業内容をもっと詳しく説明してほしい。	補足資料として地域予算の概要を配布していますが、今後、地域ごとにより具体的な説明ができるよう検討します。	
30	神岡農村環境改善センター	懇談会では地域の課題に即した話題を中心に取り上げてほしい。住民が身近に感じられる内容が必要。	懇談会の運営について、参加者の意見を反映し、地域ごとの課題に即した内容や進行方法を検討します。	●
31	南外コミュニティセンター	大仙市は民謡の宝庫だが後継者不足問題で各団体は悩んでいる。伝統芸能に興味を持ってもらえるような後継者育成を盛り上げてもらいたい。	伝統芸能の後継者育成は大事なことで認識しています。大曲農業高校も郷土芸能を取り上げた活動を行っています。教育の中に取り入れて、子どもたちに魅力を伝えてまいります。	●
32	南外コミュニティセンター	水質検査計画に基づき検査が行われているが、自然界では分解されにくく健康に悪影響を与える可能性が指摘されている化学物質のPFAS(ピーファス)は検出されているものか。	市直営の水道と簡易組合による水道があり、簡易組合の検査には市から補助金を出しています。検査結果は所管する産業建設常任委員会に報告はないため、今後は議会も検査結果を確認することが大事と考えます。 (支所農林建設課長)定期的に検査を行っていますが、検出されたという報告はありません。	
33	南外コミュニティセンター	大仙市にはDX推進ビジョンがあり、デジタルリテラシー向上のためのスマートフォンやパソコンの購入支援、インターネット環境整備支援を行っているが、アプリの操作方法等の支援も行ってもらいたい。	パソコンの操作方法等は出前講座を要請してもらいたいただきたいと存じます。全てをデジタル化するわけではなく、施設の使用予約や戸籍の申請等でできるだけ書かなくてもよい市役所を目指しています。また、農業分野でのデジタル化が進んでいます。デジタルを上手に活用し市民生活を良くしていこうと取り組んでいる最中であるためご理解ください。	
34	南外コミュニティセンター	マイナ保険証の利用率は低いようだが、大仙市が行う取り組みを教えてください。	大仙市では国の方針に従って保険証切り替え時等に周知しています。	●

No.	開催場所等	いただいたご意見	当日の回答	市議会 だより 掲載
35	内小友公民館	給食費未払い等による財源不足が、給食そのものの品質低下につながるおそれを懸念している。給食費不払いがない状況を目指し、本来支払われるべき金額を対象とした支援を検討してほしい。	令和4年度の給食費未納者は約1.6パーセント(160人)となっており、督促や児童手当からの充当などで対応しているため、品質低下とは直結いたしません。	●
36	内小友公民館	オーガニック食品の導入により、給食をより充実化できるのでは。過去に他県で、原発事故後に放射性物質が懸念される牛乳が給食に使用されたことがあった。このようなことが再び起こらないよう、安全な食材の確保を求める。	市ではHACCP(ハサップ)を導入しており、給食の食材の加工過程や安全性は管理・記録されています。	
37	内小友公民館	ネオニコチノイド(農薬)や有機フッ素化合物(PFAS、PFOA)の検出が全国的に問題視されている。大仙市の水道水の安全性を確認してほしい。	大仙市の上水道と簡易水道では、年間約3,200万円をかけて検査を行っており、有害物質は確認されていません。	
38	内小友公民館	給食にオーガニック食材や安全性の高い食材を取り入れてほしい。農家との契約でオーガニック野菜やお米を供給する仕組みを検討してほしい。	オーガニック食品は手間とコストがかかること、地元農家との契約は不作のリスクがあることから、現行の給食費では対応が難しい状況です。	
39	内小友公民館	国際花火シンポジウムの成果を生かして、大曲の花火の魅力発信、観光資源としての活用を進めてほしい。また、古四王神社や縄文遺跡など、地域の文化財や観光資源のPRにも力を入れてほしい。	国際花火シンポジウムは興行目的ではありませんでした。花火の魅力発信や観光資源のPRについて、今後も努めてまいります。古四王神社や縄文文化に関しても、より多くの方に知っていただけるよう取り組んでまいります。	
40	内小友公民館	秋田県では出沒したクマを即座に駆除する方針であるが、山に戻すなど他の選択肢も検討してほしい。山林の保全や広葉樹の植樹など、クマが人里に出沒しない環境を整備する必要があると考える。	クマは山間部の住民にとって大きな脅威であり、住民の安全確保を重視する立場から駆除が必要な場合もあると考えます。	●
41	内小友公民館	LGBTQ対応のトイレ設置により、一般女性の不便や不安が増しているケースがあると聞く。大仙市においても、すべての市民が安心して利用できる設備を設置してほしい。	女性専用トイレをしっかりと確保することは重要です。大仙市でも引き続き対応を検討いたします。	
42	内小友公民館	コロナ禍で不登校児が増加している現状に対応し、居場所づくりを進めてほしい。特に「夢パーク」のような活動を参考にして、子どもたちが安心して過ごせる環境を整備してほしい。	大仙市では現在、週1回の交流センター「フレッシュ広場」や「ふらっと」、「びおら」、退職教員による学習支援など、不登校児が安心できる居場所づくりに取り組んでいます。	●
43	内小友公民館	自衛隊に名簿が提供されている件で、大仙市に確認したら、すでに送付済みとのこと。個人情報知らない間に提供されるのは問題ではないか。他自治体のように除外申請の仕組みを整え、広報で周知すべきではないか。	名簿の提供は自衛隊法第97条第1項に基づくもので、拒否の権限はないようです。ただし、除外申請の事例もあるため、プライバシー保護の観点から持ち帰って対応を検討したいと存じます。	

No.	開催場所等	いただいたご意見	当日の回答	市議会 だより 掲載
44	角間川公民館	市職員の対応が横柄で親しみに欠けると感じる。それが市職員の給与が高いのではないかとこの声にもつながる。親しみやすい対応が求められるのではないか。	市当局にご意見を伝え、指導を依頼いたします。職員研修を通じて対応の改善に努めるよう、議会としても促してまいります。	
45	角間川公民館	親水(しんすい)公園の排水設備について、大雨の際は国土交通省のポンプで対応しているが、迅速さに欠ける。秋田市のような豪雨災害に備え、大型の排水設備を常設してほしい。	親水公園の排水設備は大型移動式ポンプ車の活用を基本としつつ、常設設備の設置についても必要性を市当局に伝えます。未曾有の集中豪雨に対応するための体制整備を求めてまいります。	
46	角間川公民館	アメシロ防除の周知が実情に合っていない。発生後に連絡し対応できる仕組みを整えてほしい。	現状の周知方法が実態に即していないという意見を市当局に報告し、発生時に迅速に対応できる仕組みの検討を求めます。	●
47	角間川公民館	空き家が増加しており、街部と郊外のサービス格差が広がる懸念がある。また、女性の流出を防ぐための対策が必要ではないか。	空き家の解体支援や、町部と郊外のサービス格差解消に向けた取り組みを市当局に求めます。さらに、女性の流出を防ぐため、若者や女性に優しい街づくりの推進についても要望いたします。	●
48	角間川公民館	市政懇談会の参加者が高齢者に偏っている。若い世代も参加しやすい開催形式を検討してほしい。	懇談会の形式については、若い世代が参加しやすい方法を広報広聴常任委員会で引き続き検討します。土日の開催や新たな形式の導入についても議論を深めます。	●
49	角間川公民館	親水公園の橋や水道が壊れており、ベンチも不足している。清掃活動を行っているが、設備の修繕と管理の改善を求める。	公園設備の修繕と管理について、市当局に対し迅速な対応を要望してまいります。地域活動支援の補助金制度を活用した取り組みの周知や支援も求めてまいります。	
50	角間川公民館	雄物川を中心に防災マップが作られているが、横手川の堤防も老朽化している。バックウォーターの懸念もあり、横手川の対策が必要ではないか。	県や総合防災課に現状を確認し、必要な対応を求めていきます。	
51	さくまろ館	仙北地域には払田柵跡、旧池田氏庭園があり予算は付いているようだが、もう少し整備してもらいたい。払田柵跡はガイダンスが閉まっているとトイレが利用できないため仮設トイレを設置してもらっている。文化財とその周辺は大事に守ってもらいたい。	昨年は払田柵跡の南門を大規模改修しました。この払田柵跡と旧池田氏庭園は国指定の史跡のため、文化庁の許可がなければ整備等が進みません。事業費の2分の1は国の補助金で賄われますが、国の指導を受けて綿密に行われるため時間がかかります。計画は10年先までできているが、市での予算が付かないというのが現状です。	●
52	さくまろ館	広報に自治会で敬老会を開催すると補助金が出るとあった。市で敬老会を開催したほかに自治会で開催したものに補助するのか、それとも市では開催せず自治会で開催する敬老会に補助をするのか。	旧市町村単位で開催していた市主催の敬老会は関係各所の協力を得にくくなったことから市主催の敬老会は開催されなくなりました。各自治会で敬老会を開催する場合、人数に応じて補助金が出ます。	

No.	開催場所等	いただいたご意見	当日の回答	市議会 だより 掲載
53	さくまろ館	敬老会の予算としては1人当たり3千円ほどになりそうのため、補助金の額をもう少し上げてもらいたい。	今年の予算は決まっているため、もう少しつけてもらえないか当局に伝えま す。	
54	さくまろ館	自治会で敬老会の対象者を把握することは難しいため、行政において案内の送付や集約などお手伝いしてもらえないか。	市で案内を代行することは難しいと考 えます。家々に回覧版で周知するのは いかがでしょうか。	
55	さくまろ館	国からの交付金に頼り3割自治といわ れるが、自主財源を増やす策はあるも のか。	自主財源を増やすための有効な手立て には、公共施設の有料化、遊休地の処 分など市民の負担を増やす必要があり ます。企業であればここで利益を得ら れますが自治体は営利目的ではないた め難しく、国や県の制度を利用し、必 要なものは国から応分に負担してもら うことが大事だと考えます。国の制度 を理解し将来も運営できるような効率 的な財政運営の方法を勉強していかな ければなりません。	●
56	さくまろ館	上記と同じ質問	自主財源を増やしたいが、人口減少で 税収が減っています。移住定住を進 め、企業誘致に力を入れ、法人税の税 収を上げる施策を進めてまいります。	
57	さくまろ館	上記と同じ質問	市税の半分を占めるのが固定資産税で あります。固定資産を上げる2つの方 法は、公園等を整備して住みたいと 思ってもらい価値を上げる方法と、市 で建てると固定資産税がかからなく なってしまうので、企業誘致等民間で 建物を建ててもらい、企業で利益を上 げてもらい固定資産税を納めていただ く方法があります。	
58	さくまろ館	ふるさと納税額が年々伸び、子ども支 援等に多く使われて良いことだと思 うが、中高生に対する支援が少ないと 感じている。中高生に地域に対して思 っていることなどを意識調査としてアン ケート等を行ってはいかがか。「国づ くり＝人づくり」人に対する予算を厚 くしていくべきと考える。	アンケート調査は必要と考える。将来 就きたい職業を聞くと迷っていると感じ る。8月には中学生サミットが行われ る、そのサミットで何か出てくるか もしれない。	●
59	おおたコ ミュニティ プラザ	地域に堤が3つあるが、全部渇水状態 で水不足が深刻。原因として緊急土砂 災害の工事によりだいが土砂が堤に流 れ込んだ。貯水量の3分の1ほどが無 駄になり、泥上げするためなにか方法 はないか。ほ場整備が来年採択になる ため、一緒に抱き合わせてできない か。	農業をやっていくには水が必要。ほ場 整備もしているということで自然の水 は大事であり、堤の保水機能を回復さ せることは重要なこと。議会に持ち 帰って対策について協議していきたい。	

No.	開催場所等	いただいたご意見	当日の回答	市議会 だより 掲載
60	おおたコ ミュニティ プラザ	農業政策について、田んぼに5年に1回水を入れるということ、もう牧草を取るなということになる。水の入らないところで豆やハウスをしているし、水のない夏に入れると言われてもどうしようもない。	政策が変わるとき、国に現状を話しに行ってきたが、結論から言えば水田から畑にしてというのが国の本音。牧草を作るならずっと畑地として使い、水田であれば5年に1回は水を入れてという意味合いだが、制度上やらなきゃならないことに矛盾を感じている。難しい問題とを感じるが現場の声を届けていきたい。	
61	おおたコ ミュニティ プラザ	コンパクトシティ構想については中心部の大曲と旧町村をつなげる交通が課題であると思うが、同じ市民としてどの地域からでも同じ料金で行き来できるようにしてほしい。また、料金を下げた場合に利用が増えると試算し、現行との経費比較をしてみしてほしい。	以前、妊婦健診に行く際のタクシー助成について、目的は同じなのにかかる経費が地域によって違うのは不公平ではないかと議論があった。なるべく公平な制度にするための方法を考えていきたい。	
62	おおたコ ミュニティ プラザ	太田地域の学校統配合の計画はあるか。進捗状況は。また、昔あった地域の学校に通うという学区制度はどうなっているか。	学校統配合は現在、全庁的な検討組織で計画を策定中であり、今年度中には示される予定です。学区という区分けは現在もありますが、事情がある場合など学区をまたいで通うことができます。	●
63	おおたコ ミュニティ プラザ	ため池の「サン」の改修について。昔からのため池で「サン」という水をはき出す部分の管があるが沢を止めて作っているため、泥ばきする必要などがある。ほ場整備と併せて、ため池整備ができればよいが、なにか新しい制度を検討してもらえないか。	水がないと農業は成り立たず、水の確保が大事。少しの水でもコントロールできる仕組みを作ることが必要と思う。方法や制度は市全体にかかわることなので、順序立てて進めていかなければならない。	
64	おおたコ ミュニティ プラザ	移動販売車支援について。買い物が難しい高齢者にとっては、自宅訪問など、便利で懇切丁寧な対応に感心している。何か支援し、継続してもらえる手助けをしてほしい。	買い物難民という言葉もあり、南外などで支援したことがあった。大仙市全域に通じる大事な視点であり、ニーズがあるところには手当するなど支援を考えていく必要がある。	●
65	おおたコ ミュニティ プラザ	あか松庵周辺の整備について。栗が実った頃、木にクマが登った。おりを設置したが捕獲できなかった。大木の枝が折れて垂れ下がっていたり、枝葉も下の方から繁茂していて薄暗い感じがすることも、クマが来やすい要因かと思う。近くのモリボの里には子どもたちが訪れるので、落ちた枝葉など撤去し、安全に散策できる環境を整えてほしい。	東部の山岳を使っの観光や交流のメニューが当局から示されてきている。当面のこととして少し整備した方がいいと感じている。支所の管理と思うので、ある程度の予算をつけ対応していく。	●

No.	開催場所等	いただいたご意見	当日の回答	市議会 だより 掲載
66	おおたコ ミュニティ プラザ	河川環境について。太田地域では河川愛護ということで、毎年土手の草刈りなどを行っている。ボランティアでやっているが、他地域はどうしているか。スマート農業がでてきて、リモコンで草刈りができる機械もあるようだ。少しずつ移行していくと人手が少なくて済むと思うが、河川愛護について今後どのように考えているか。	河川管理は基本的に県の管理であり、河川愛護も県に協力している形。全ての河川について整備を要望しているが毎年できる範囲は限られている。河川愛護の関わりについては、議会としては無理のない範囲でボランティアに協力していただきたい。	
67	おおたコ ミュニティ プラザ	太田には全国に誇れるグラウンドゴルフ場がある。1,500人規模の大会ができる場所は他にない。冬場はできないと思われるが、整地し、ふれあい館を少し伸ばすと室内の公認コースができる。冬場もできると健康促進や全国の人たちとの交流もできるため、ふれあい館の拡張について検討してほしい。	グラウンドゴルフ場については全国規模の大会ができる非常にいいコースだと認識している。ふれあい館の拡張も含めて、情報発信もしながらよりよい方向に進めるよう検討していく。	
68	おおたコ ミュニティ プラザ	農業後継者育成について。あと10年もすると担い手がいなくなってしまう。研修施設の研修生が農業にチャレンジしないで終わることがあるようだ。予算を伴っていることであるので就農しているのかいないのか検証してほしい。我々は研修生を歓迎し後押ししたいと思っている。	これからの農業は人材確保が重要であり、入り口を作ることが必要です。研修しても10年後就農しているかというとうそでない場合もあるが、ゼロではないと思います。引き続き、研修生を募集し、ここにきて就農したとき、周りが支援するなど就農できる環境であることが大事であり、研修をスタートにその後もフォローしていけるよう提案していきます。	●
69	四ツ屋公民館	四ツ屋地区の道路、特に国道に抜ける道がでこぼこで困っている。子どもたちも通る道なので、上の方だけ直すのではなく、全面的に舗装してほしい。また、市長が来る前に急いで整備される箇所があったが、優先順位を市民目線でつけてほしい。市民が安心して使える道路にしてほしい。	道路整備の優先順位については、市民の安全を最優先にするべきというご意見を真摯に受け止めます。ご要望を具体的に文書や写真を添えて提出していただければ、議会を通じて建設部に伝え、改善を図るよう取り組みます。	
70	四ツ屋公民館	四ツ屋公民館の駐車場の除雪について、利用者が安心して駐車できる体制を求めたい。小雪でも除雪を行うようにしてほしいが、現状では除雪基準や頻度が不明確で、市民にとってわかりやすいルールが必要だと感じている。	公民館の駐車場は公共施設であり、周辺には保育園もあることから、除雪体制をしっかり整える必要があると考えます。市民にわかりやすい形で除雪の基準を示し、安全を確保するよう要望として建設部に伝えます。	
71	四ツ屋公民館	昨年、20年以上除雪していた道路が通行止めになった。地元住民には事前説明がなく、交通量調査などの裏付けも不明で、納得できない。予算の問題もあるかもしれないが、通行止めの決定には地域住民への説明が必要だと感じる。	通行止めに関する事前説明や地域との協議が不足していた点については反省すべきだと考えます。道路は住民の日常生活に欠かせないものですので、通行止めの判断にあたっては、地元住民の意見を十分に聞くよう市当局に働きかけます。また、交通量調査などのデータを公開し、透明性を高めるよう求めていきます。	●

No.	開催場所等	いただいたご意見	当日の回答	市議会 だより 掲載
72	四ツ屋公民館	今年は雪が少なかったため除雪費が削減されたが、その分を道路維持費に充ててくれればいいのでは。道路の穴埋め作業(パッチング)に多額の予算がかかる中、効率的な維持管理の方法を考えてほしい。	除雪費と道路維持費の使い方について、市民の安全を最優先にした予算配分が必要です。この意見を建設部に伝え、維持管理計画の効率化を含めた検討を求めます。	
73	四ツ屋公民館	給食費無償化を進めてほしい。また、オーガニック食品や地元農家と契約した米など、安全で質の高い食材を使用してほしい。	給食費無償化については現状の財政状況を踏まえながら、可能な範囲で拡充を目指します。オーガニック食品や地元農家との契約についても課題を整理し、市当局に検討を求めます。	
74	四ツ屋公民館	学校や保育施設の統廃合に当たり、地域コミュニティのつながりが失われる懸念がある。単なる少子化対策としての統廃合ではなく、地域の経済や社会活動への影響を考慮してほしい。	地域コミュニティを維持する観点から、安易な統廃合には慎重に対応すべきと考えます。市当局に地域住民の意見を十分に聞き、共存可能な施策を検討するよう求めます。	●
75	四ツ屋公民館	議会は市民の意見を「市に伝える」だけではなく、具体的に議会としてどのように取り組むのかを明確に示してほしい。	議会として市民の意見をしっかりと政策に反映させるべく、常任委員会での議論を通じて具体的な施策提案を行います。また、市当局への提言状況や進捗を市民に分かりやすく報告する仕組みを整えます。	●
76	四ツ屋公民館	四ツ屋地区に公園が欲しい。子どもたちが遊べる場所がなく、大曲の公園まで行く必要があるため不便を感じている。また、公園と併設して、世代交流の場になるような施設ができればいい。	四ツ屋地区での公園設置の必要性については、これまでも多くの声をいただいています。用地の確保や維持管理の問題がある。管理や予算負担について議論の結果、受け入れられない場合が多いです。	●
77	四ツ屋公民館	回答に憤りを感じる。市民の声を聞く場で、議員が「金がない」「要望書を出せ」という回答では、市の回し者ではないか。民意の実現に向けて知恵を出し、実現に向けて動くのが議員の役割ではないかと考える。議会が市とどう関わり対応するのか具体的に示すべき。	市政懇談会で出された意見は、一語一句文書にまとめ、広報広聴常任委員会や議会に取り上げ議論し、市に伝えます。	
78	中仙農村環境改善センター	災害時、被災地では水不足やトイレの問題が出てくる。いざというとき、避難所に水や簡易トイレなど備蓄品は充実しているものか。	広い面積を持つ大仙市は災害時に道路の寸断で備蓄品が運べなくなる危険を回避するため、備蓄品は市内40カ所ほどに分けて保管する分散備蓄をしています。備蓄品の一覧は市のホームページに掲載されています。中仙地域では、支所、農村環境改善センター、中仙中学校、水防倉庫の4カ所に備蓄されていて、農村環境改善センターには布団や水など必要なものはそろっています。	●

No.	開催場所等	いただいたご意見	当日の回答	市議会 だより 掲載
79	中仙農村環境改善センター	八乙女交流センターが民間企業の指定管理から市直営に今年度から変更になった。しかし、宿泊がしにくくなったようだ。改修してよくなったと思っていたため残念に思う。	民間企業が管理していたが、なかなか大変だったようで今年度から市が管理しています。市直営になったことで費用が多くかかっている状況です。宿泊がしにくいという状況について、飲食店組合の体制等が整っていたと記憶しており、確認してみます。	●
80	中仙農村環境改善センター	八乙女球場は36年前に作られ、国体の際にはバックスクリーン等を改修してもらったが、観覧席等が老朽化して痛んでいる。市全体の計画があると思うが、現場を見ていただきたい。八乙女球場よりも新しい協和球場の改修がされるとあった、なぜ協和球場が先なのかという思いがある。	来年世界少年野球大会が開催される協和球場のバックスクリーンが落雷により故障したため今回予算に計上しています。スポーツ施設の管理や改修は、大仙市公共施設等総合管理計画の中で進めています。	
81	中仙農村環境改善センター	八乙女野球場の電球が劣化している。他の施設ではLEDに交換しているが、まだ水銀灯を使っている。順番があると思うが、いつ頃直してくれるものか。	後ほど、具体的な対応等を提示させていただきます。	
82	中仙農村環境改善センター	八乙女交流センター体育館で毎年正月に開催されるバレーの全県中学選抜大会を観戦しているが、照明が暗くて試合ができない。当時の所長に確認したところ、この施設は耐震工事が行われる予定のためそれに合わせて直すと言っていた。耐震工事に入る前に早めに直してもらえないか。	八乙女交流センターの体育館の照明は要望させていただく。耐震に関して、この地域が土砂危険区域になっており建物の更新ができない区域のため耐震工事の対象にはなっていないと記憶している。そのため体育館の要望を出すなど働きかけをしている。確認した後ほど報告させていただく。	
83	中仙農村環境改善センター	もし被災した際に避難所で床に直接布団を敷いて寝たり、仕切りの壁がないような空間でストレスがたまる生活を数カ月すると思うと不安。仕切りや段ボール等の準備はあるか。	仕切りはある程度準備しています。2畳ほどの大きさでプライベートが保たれます。また床に直接寝ないように段ボールベッドの用意もあります。	●
84	中仙農村環境改善センター	1人暮らしの高齢者と話をした際、タクシー券が減額されたという話を聞いた。そういった支援はどのようにしているのかお聞きしたい。	タクシー券について、以前よりも少なくなったと話題に出ていました。当局側に伝えます。	●
85	中仙農村環境改善センター	長野公民館が近いうちになくなるという話を聞いた。長野公民館のこれからの展望や検討していることがあったら説明していただきたい。	中仙公民館の6分館の再編を検討しているが、協議がどのくらい進み、結果がどうなったかは聞いていないため後で報告させていただきます。何年か前に長野公民館を地域の公民館として改修した後に無償譲渡できないかと地域で検討をお願いしたが、その後話が進んでいないようです。そういった選択肢もあるため地域で協議して要望を出していただければと思います。	●

No.	開催場所等	いただいたご意見	当日の回答	市議会 だより 掲載
86	中仙農村環境改善センター	36年前に第1回全国ジャンボうさぎフェスティバルが行われ県内外から200羽ほど集まっていたが、うさぎを扱う農家も高齢化が進み昨年はわずか70～80羽ほどだった。うさぎの改良保存については中仙地域の畜産振興会で盛り上げているようだが、このイベントがなくならないようご指導をお願いしたい。	ジャンボうさぎについては中仙地域が一番の先進地です。全国に広まり、北海道から参加があったとも聞いています。担当課長も一生懸命頑張って苦勞しています。様々な機関と調整しながら盛会に続けていきたいと思います。苦勞するのは担当者であるので、エールを送っていただきたいです。	
87	サンクエスト大曲	大曲の花火は通称・俗称・愛称であり、正確には全国花火競技大会であると認識している。今回のモンテリオール国際花火大会出場に際し違和感があり、正確には「大曲の花火実行委員会」がエントリーしているものではないか。広報やGCFの表現が曖昧で分かりにくい。	ご指摘のとおり名称や表現に関して曖昧さがあり、混乱を招いてしまった点を重く受け止めています。今後、市や関係機関と連携し、広報や情報発信をより分かりやすくする取り組みを進めてまいります。	
88	サンクエスト大曲	ガバメントクラウドファンディング(GCF)で集めた資金の使途や返戻品に関する費用の詳細な決算書を公開すべきである。	GCFの詳細な決算書については、市当局に確認の上、公開可能な範囲で資料を整備し、市民の皆様に説明するよう要請してまいります。	
89	サンクエスト大曲	GCFの目標額1,000万円に達しなかった場合、不足分を税金で補填するのかについて明確にしてほしい。	目標額に達しなかった場合の対応については、まだお答えできない。市当局に確認し、財源の確保方法を含めて、明確な方針を示すよう求めてまいります。	
90	サンクエスト大曲	他の団体が同様に世界大会へ出場する場合、市がどのような支援を行うのかを示してほしい。	市の支援については公平性を確保し、他団体への支援のあり方についても透明性を持って説明できる仕組みを市と連携して構築してまいります。	
91	サンクエスト大曲	大曲中学校の運動部活動における迎いの車の動線が不便であり、迎えに向かう住民や近隣住民に負担が生じている。特に冬季は雪道の影響もあり、危険が伴う。	動線の改善については、地元住民や学校関係者と調整を行い、市当局とともに具体的な改善策を検討し、早期実現を目指してまいります。	
92	サンクエスト大曲	長年にわたり組合が維持管理してきた道路消雪のパイプが老朽化し、修繕費用が増加している。市の補助金を増額するか、施設を市直営で管理する仕組みを検討してほしい。	消雪設備の補助金増額や設備の市直営化について、市道路河川課を通じて現状を確認し、地域住民の負担軽減に向けた具体策を検討するよう市当局に要請してまいります。	●
93	サンクエスト大曲	地域の生活道路が抜け道として利用される車両によって交通量が増加しており、住民の安全に支障が出ている。この問題に対し、市として具体的な対策を講じてほしい。	交通量増加による住民負担の問題について、市道路河川課に状況を報告し、抜け道対策や車両速度の抑制など、具体的な対策を検討するよう要請してまいります。	

No.	開催場所等	いただいたご意見	当日の回答	市議会 だより 掲載
94	サンクエスト大曲	健幸まちづくり推進事業について、具体的な成果や市民参加率工場について伺う。また、歩数計の費用負担やタニタ製品の活用に関して、他企業とのバランスや透明性について、市民に分かりやすく説明してほしい。	健幸まちづくり推進事業の進捗や成果について、分かりやすい情報発信を市当局に求めてまいります。 また、ふるさと納税の返戻品は公平に選定されており、タニタ製品が特別されているわけではありません。	
95	サンクエスト大曲	大仙市の自然環境を活かし、学校給食にオーガニック食材を導入するべきである。また、生産者への支援を通じて、地域経済と子どもの健康の両方を促進してほしい。	学校給食におけるオーガニック食材の導入については、市当局と協議し、実現可能性を検討してまいります。また、生産者支援と連携し、地域全体の活性化にもつながる施策を模索してまいります。	
96	サンクエスト大曲	国の方針やメディアの情報は必ずしも正しいものではないと思っている。議員の皆さんは、国の言うことに盲目的に従う大人であってほしくない。安全・安心で当たり前の権利が尊重される大仙市であってほしい。	私たち議員は、住民の暮らしや福祉を守るため、国の施策が住民に与える影響を吟味し、それぞれの立場で議会に臨んでいます。「駄目なものは駄目」と主張し、議論を重ねながら住民の願いを反映できるよう努力しています。	●
97	サンクエスト大曲	市内の横断歩道や白線が消えかかっており、歩行者の安全が脅かされている。速やかに補修を進めるべきである。観光的にも見た目が悪い。	横断歩道や白線の補修については、市道路河川課に伝え、優先順位をつけて計画的に進めるよう要請してまいります。	●
98	サンクエスト大曲	大仙市の移住促進において、具体的な魅力を提示する必要がある。移住者にとって魅力的な教育や住環境の整備、プロモーション活動を強化すべきである。	移住者への魅力的な情報発信について、市当局と連携し、プロモーションビデオの作成や住環境の整備、教育環境の充実などを検討してまいります。市民や移住希望者の意見も参考にし、移住促進策を進めてまいります。	
99	サンクエスト大曲	大農の冬季の送り迎えの車両が道路幅の狭い箇所に集中し、渋滞や危険が発生している。特に道路幅が狭くなる冬季には改善が求められる。	大農の課題については、市当局と協議し、学校側にも連携を求め、安全確保のための対策を進めてまいります。具体的には、送り迎え専用スペースの確保や道路の改善案を提案してまいります。	
100	サンクエスト大曲	子育ては地方が担うべきで、大仙市が「子育てしやすいまち」として子育て世代を中心に移住促進するため、具体的なPRポイントを示しては。	(先ほど、大山さんへの回答で述べたとおり。)	
101	サンクエスト大曲	大仙市は「大曲の花火」が中心的な観光資源であるが、それ以外の観光資源の発信が弱い。市内全域の観光資源を整備・PRし、県外からの観光客誘致を強化すべきである。	市内全域の観光資源を活用し、観光の多様性を発信する重要性があると認識しています。市当局と連携し、既存の観光資源の見直しや、新たなPR戦略の策定に取り組んでまいります。	●

No.	開催場所等	いただいたご意見	当日の回答	市議会 だより 掲載
102	サンクエスト大曲	クマ対策で、目撃情報を知らせる対応だけでは不十分。大仙市独自ではなく、近隣自治体とも連携しての取り組みを強化してはどうか。	全県規模でネットワーク、連携を組んで対策をやっているところです。	
103	サンクエスト大曲	オーガニック給食を導入し、農家と契約して食材を買い取る仕組みを作り、住民や移住者、子どもたちにとって魅力的な環境を提供することで大仙市の魅力向上につなげてはどうか。	現在、市からの具体的な方針はありませんが、委員会で話題として取り上げ、市の方に発信していければと思います。	
104	サンクエスト大曲	大曲地域内には子どもが遊べる遊具のある公園が少なく、近隣市町村まで移動しなければならない状況である。地元で遊具の整備を進めるべきである。	現在、神岡地域に屋内施設の整備計画が進行中です。子どもが安心して遊べる環境整備について、引き続き市当局と連携し、適切な整備を進めてまいります。	●
105	サンクエスト大曲	議会の内容を市民がより簡単に確認・閲覧できるよう、QRコードを活用して、録画データ等へアクセスできるようにしてはどうか。	広報広聴常任委員会の所管部分であるため、今のご意見を参考にさせていただきます。	●
106	サンクエスト大曲	クマの出没が増加している中で、根本的な山林環境の改善が必要である。緩衝地帯の整備や食料となる木の植林など、長期的な視点での対策を求める。	クマ対策については、山林環境の改善を含めた長期的な施策が必要と認識しています。市当局や猟友会と連携し、緩衝地帯整備や植林計画について具体的に検討してまいります。	
107	サンクエスト大曲	シュタイナー教育やモンテッソーリ教育など、多様な教育の選択肢を用意し、不登校対策や移住促進に活用しては。 ※1 自由な発想と想像力を育むことを重視した教育法。 ※2 子どもの自主性と自立を促すことを重視した教育法。	市当局に伝え、多様な教育環境の整備を検討してまいります。	
108	サンクエスト大曲	救急対応時にスマートフォンを利用した緊急通報システム「ライフ119」を導入するべきである。迅速な対応により市民の安全を確保できると考える。	「ライフ119」の導入については、市当局と協議し、予算や運用体制を含めた実現可能性を検討してまいります。	●